

全国曹洞宗青年会

SOUSEI

2025.2 Vol.208



創立50周年記念事業

特集①

両大本山報恩拝登 大本山永平寺

特集②

禅のつどい「自然に親しむ ZEN ASOBI」



創立50周年記念事業

兩大本山報恩拜登

大本山永平寺報告





兩大本山報恩拝登 大本山永平寺報告



令和6年11月21日、令和6年度禅文化学林併催として、創立50周年記念大本山永平寺報恩拝登を行いました。加盟曹青会や青年会OBをはじめ、全日本仏教青年会（以下、全日仏青）や世界仏教徒青年連盟（以下、WFBY）の皆様もお越しいただき、国内海外合わせて総勢200人を超える参加となりました。

始めに吉祥閣大講堂において、臨時



評議員会と臨時総会を行い、臨時評議員会では小林昌道監院老師にご挨拶を賜りました。

引き続き、曹洞宗僧侶は僧堂内単において坐禅二炷を坐らせていただきました。これは大本山永平寺様のご厚意によって実現したことで、安居経験者にとつては懐かしの坐禅となり、その他の僧堂安居経験者にとつては貴重な坐禅となりました。参加者それぞれが自ら



の原点に立ち返る大変貴重な時間となったことと思います。また並行して、全日仏青とWFBYの皆様は案内のもと諸堂拝観をなされました。他宗派の方にとつては馴染みのない曹洞宗の本山ですが、大変興味深く拝観されており、ご来賓の方々も有意義な時間を過ごせたようでした。

14時30分から法堂において、田ノ口会長の導師のもと創立50周年報恩諷経と世界平和大施食諷経を行いました。昨年の大本山總持寺拝登に続き、全曹青50周年の報恩感謝と、さらには絶えない戦争や自然災害での物故者への供養を行い、世界の安寧を心二つに行じました。安居者が減少している大本山永平寺において、今回のように法堂を埋め尽くすほどの随喜が寄せられるのは滅多にないことだと伺いました。

最後に、大講堂において田ノ口会長から「大本山永平寺様に拝登し、僧堂内単での坐禅という得難い機会をいただき、法要を勤めたことは、今期スローガンである『結集』に相応しい行事だと考えております」と報恩拝登の総括を述べられ、併せて参加者への謝辞を表明されました。第25期のスローガン『結集：想いを結び合わせ、未来へ』のもと、大本山への報恩と、未来への希望を込めて、報恩拝登は盛会裡に終えることができました。

文／広報副委員長 信行一宏





令和6年10月19日・20日、「自然に親しむZENASOBI」を京都府立るり溪少年自然の家で開催いたしました。創立50周年記念事業の1つである禅のつどいは、青年僧侶が寺院から飛び出し、様々な場所へ一般の方に禅の教えを知っていただくことを目的としております。当日は2歳から60歳の参加者、スタッフとして全曹青出向者だけでなく加盟曹青会員や現地ボランティア、女性スタッフの皆様を合わせた約100人が参集しました。

1日目は14時のオリエンテーションから始まり、雨天で計画通りに実施できない企画もありましたが、火起こし体験や野外炊飯、仏教の教えを取り入れた様々なレクリエーション等、キャンプ場だからこぞできるプログラムを行いました。屋内での夜坐では、第24期に株式会社モンベルとコラボレーションし製作した『ZENSUSEI ZEN CUSHION』を使用しました。初めての方もおりましたが、坐り方や法話を交えながら皆で15分間行いました。レクリエーションで作成した竹灯籠や蓮キャンドルを室内に置き、幻想的な空間の中で坐禅をすることができました。



2日目は暁天坐禅を行い、朝の勤行では皆で般若心経をお唱えしました。初めてで戸惑うお子さんも、パンフレットのお経を読みながら唱えていました。館内で粥の朝食をいただいた後は全員で清掃を行い、日中は前日同様に屋内外でのレクリエーションで楽しみました。最後には茶話会の時間も設けられ、参加者からは様々な質問が寄せられました。僧侶が点てたお抹茶等を飲みながら、賑やかな時間を過ごしました。僧侶のことを少しでも知っていただける機会になったのなら幸いです。

あいにくの天候により、テント泊や一部のレクリエーションが外で行えませんでした。しかし、休憩時間に小雨の中を走り回っているお子さんもおり、たとえ雨であっても思い思いに楽しんでる様子を見てこちらも嬉しくなりました。禅のつどいの再開を望む声や、参加できて良かったという声を多数いただき、この事業が盛会裡に終わることができたと実感いたしました。全曹青創立の機縁となった「禅のつどい」に改めて注目し企画したこの事業が、加盟曹青会などでの開催の1つの参考となれば幸いです。

文／広報委員長 宮本貴心

自然に親しむ ZEN ASOBI

参加者の皆様から、感想をいただきました

40代男性

今回のZEN ASOBIは大盛況で会50年の記念にふさわしい事業だと感じました。自然に子どもや大人がお坊さんと触れ合っている光景が輝かしく見えました。縁起を大切にさらに50年を次の世代まで繋いでください。

40代女性

今回は大変有意義で楽しいキャンプを企画、運営してくださりありがとうございました。キャンプから帰った後も余韻が残り、子どもたちと感想を話しあったり、蓮ワーク、竹キャンドルを室内で灯して楽しんでいます。

事前にメールでやりとりさせていただき、丁寧な対応で安心しました。

夜の坐禅はとても神秘的な感じで法話も良く印象深いです。動物たちのお話で子どもにも理解しやすくスッと頭に入ってきました。お坊さん方皆様優しくて、カフェではゆっくりした気持ちで色々とお話聞けたことは大変よかったです。

自然の中で遊びながら、お坊さん方も身近に感じることができ、皆様の立ち振舞いも凛とされていて感激しました。子どもたちもまた行きたいと話しており、親としてもまた参加したいと思います。

30代男性

1日目は参加が難しい遊びはキッズコーナーが設けてあり、そちらでお世話になったり坐禅中に騒いだら施設内のキッズスペースで遊ばせたりできたので早くに安心できました。竹キャンドル作りは子どもたちがとても楽しそうでした。夜ご飯の際にもご迷惑をおかけしてしまいましたが、子どもに優しく対応してくださり楽しく食べることができました。子どもは家族以外の方と同室で寝ることも初めてだったのでどうなるかと思っていましたが仲良くしてくれるお友だちもでき、遊び疲れて静かに寝てくれました。

だるまの絵付けや数珠作りはとても楽しそうに取り組んでいたのも私も楽しめました。子どもたちは竹キャンドルやだるまなどとても気に入り、帰り道も帰ってからも大切にしています。

家族全員が楽しく成長できた経験だったので、また機会あれば是非参加したいです。

小学生のお母様より

今回のZEN ASOBIの感想を聞いたところ、

- ・星空のもとで坐禅してみたかったな
- ・朝ご飯が美味しかった!
- ・いろんなものがおみやげに持ち帰れてうれしいと言っていました。

地元の禅のつどいは2回参加していますが、お寺宿泊とは違ってキャンプ要素があるのもまたよかったみたいです。保護者からみると、スタッフさんがとても多くて皆さん優しくそうに挨拶してくださったので預ける時から安心できました。

30代女性

家族みんなで楽しそうだねと話して、参加してみようと思い軽い気持ちで応募したのですがキャンプ自体経験がなく、ましてやお坊さんと一緒に、ということで私自身は少し不安でもありました。

当日までお天気が気になっていたのですがこまめに連絡をくださり、テントの大きさや寝袋のことなど、小さな心配事もすぐに解消できて本当にありがたかったです。テント泊はできませんでしたが、夕飯づくりのお手伝い、館内での遊びなど子どももとても楽しんでおり良かったです。

すべて素敵な思い出になりましたが、特に印象に残ったことは夜の坐禅体験です。自分たちで作った蓮や竹がライトアップされて美しく、その中での静かなひとときは今の私に必要だったような気がしました。山の中を歩くのも気持ちが良かったです。

息子と夫は、お坊さんって意外とジョークを言ったりはしゃいだり「良い意味で僕たちと一緒にやな!」と言っており、少しお坊さんが身近な存在になったようでした。

親しむ

ASAHOBI



ワイルダリー



アイスブレイク



とどけ知恵の玉



火起こし



蓮ワーク(キャンドル)



野外炊飯



絵パズル



竹キャンドル(竹灯籠)作り



文殊菩薩の輪

ZEN A



夜坐



なぞときク



昔玩具遊び



だるま絵付け



食事



数珠作り



写経・写仏



パチンコ作り(木の枝)



みんなであめり



創立50周年記念事業 開催報告

禅喫茶「RYUREI」 仙台開催



見を深めると同時に、交流を深めることができました。

ストレス社会といわれるように、不安や苦しみを抱えやすいこの世の中で、まずは呼吸を調え、姿勢を調えることによつて心がおのずと調っていきます。そして温かい抹茶と甘いスイーツを味わうことによつて、さらに身も心も安らいでいただく。「禅」×「喫茶」の無限の可能性を感じさせるような「杜の都」仙台での有意義なひとときでした。

文／広報委員 南澤亨全

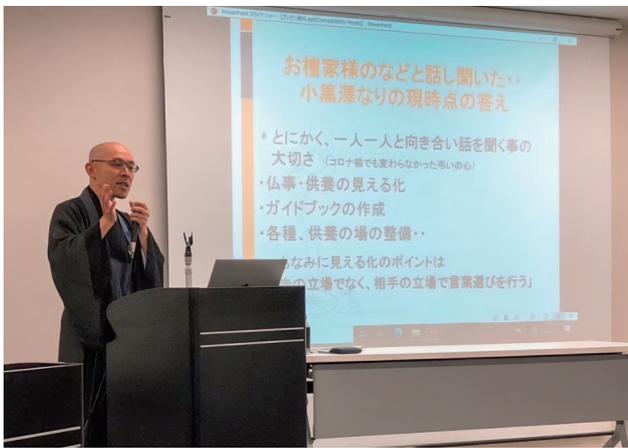
令和6年10月29日（火）、宮城県仙台市のSENDAI KOFFEE CO.で禅喫茶「RYUREI」を開催し、男女合わせて11人にご参加いただきました。
まず約20分間坐禅を行いました。短い時間でしたが、心静かに集中して坐禅に親しむことができました。
その後、法話を交えながらお店の自家製ケーキと僧侶が点てた抹茶を召し上がっていただきました。参加者からの質問も飛び交い、宗派による坐禅の作法や考え方の違い、全曹青のこれまでのイベントの話など、様々な質問を通じて僧侶としての知



第48回東海管区曹洞宗青年会大会

令和6年10月7日、愛知県名古屋市内にあるウインクあいちを会場に開催いたしました。

宮城県気仙沼市の松岩寺副住職・小黒澤和常師を講師として迎え、「コロナ禍で僧侶が考えたお葬式・供養の在り方」一人一人と向き合うことの大切さ」と題して講演会を行いました。参加者一同、これからの寺院運営において、それぞれが危機意識を感じながら小黒澤師の講演を拝聴いたしました。さらに、講演終



了後には懇親会を設け、お互いの親睦を深め今大会が成功裡に無事円成いたしましたことをご報告させていただきます。
今後も私共青年会一同、相互の協調と結束を持って精進してまいりたく思っております。

最後になりましたが、本大会無事円成のために、全曹青をはじめ関係者各位のご理解、ご協力を賜り、改めて衷心より感謝を申し上げます。

文／曹洞宗愛知県第三宗務所青年会
大会実行委員長 名村大仙





鵜飼秀徳師による講演



パネルディスカッション



**第47回中国曹洞宗青年会鳥取大会
併催 曹洞宗鳥取県青年会40周年
記念大会**

令和6年11月5日、鳥取県米子市で開催いたしました。

「仏教観と人との繋がり」と寺院のありかた」をテーマに世の中はどのように仏教を観ているのだろうか、私たちはどう歩んで行けば良いのか、という部分を中心とした大会となりました。講演では、浄土宗の僧侶であり、ジャーナリストでもある鵜飼秀徳師に「仏教の未来図」僧侶と寺院のあるべき姿」という演題でお話をいただきました。様々なデータを中心に、一般の方から何を求められてい

るのか、具体的な内容を示してください、私たちのこれからの指針となる講演となりました。

第2部では講師の鵜飼師、全曹青会長田ノ口太悟師、鳥取県清元院・井上英之師にご登壇いただきパネルディスカッションを行いました。それぞれの経験談をもとに、青年僧侶へのアドバイス、布教の方向性と様々な意見を交わし、講演と合わせ充実した大会となりました。

来賓の皆様をはじめ多くの方々にご参加いただき、無事円成できたことに感謝すると共に、この学びとご縁を大切にしていきたいと思えます。

文／曹洞宗鳥取県青年会
大会事務局 磯江紹元

**第49回曹洞宗青年会東北地方集會
「山形大会」**

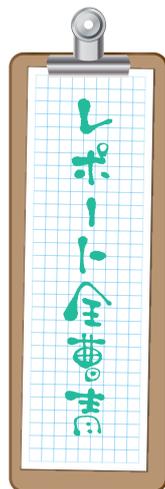
令和6年11月19日、山形市ホテルメトロポリタン山形で「衆縁和合と人とのつながり」をテーマに開催し、東北各県より180人余の会員諸兄のご随喜を賜りました。

記念式典に引き続き、山形テルサで記念事業兼一般公開プログラムとして、三味線ブレイヤーの上妻宏光様、ピアノストの伊賀拓郎様をお招きしてのコンサートを開催し、県内外より500人余のご来場をいただきました。終演時の万雷の拍手は、2年に渡り企画準備に携わり、大会運営を支えてくれた実行委員にとり

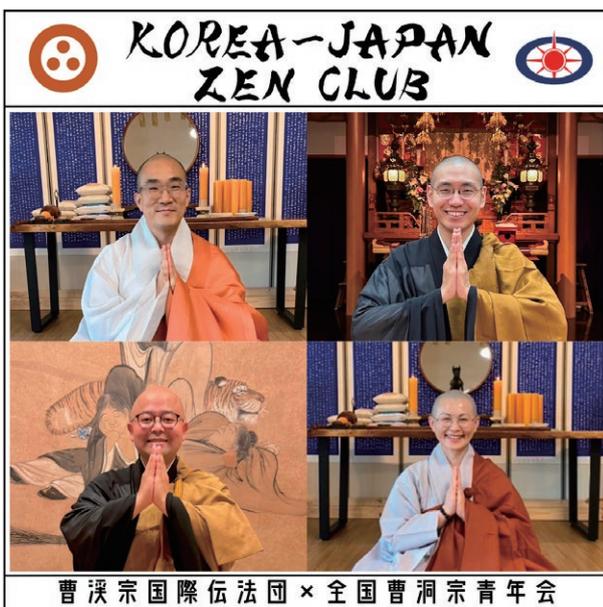
まして、何よりの励みとなりました。

新型コロナウイルスという未曾有の嵐が過ぎ、まだ世の中に大きなうねりが残る昨年4月からの企画準備でございましたが、各方面より多大なるご高配ご協力を賜り、無事円成いたしましたことに感謝申し上げます。ご報告といたします。

文／山形曹洞宗青年会会長
兼 大会実行委員長 最上隆征



「Korea-Japan Zen Club」開催報告



協力して行う今回のような企画を長く夢見ていたと仰り、途中には涙を堪えながらお話しいただく姿が印象的でした。その後には坐禅を行い、合同企画らしく日本の鐘から坐禅が始まり、最後の合図には韓国のチョッピという竹の鳴らし物で終えるという形で行いました。坐禅作法は異なりますが、同じ時間を共にするというところに重点を置き、坐禅を通じた交流ができたと思います。

曹溪宗の皆様とは昨秋京

令和6年10月25日、韓国・曹溪宗国際伝法団との合同企画「Korea-Japan Zen Club」を開催しました。オンラインによる国際交流企画で、両国合わせて約35人にご参加いただきました。最初は曹溪宗・弘大禅院 (Just Be Temple) 御住職の俊漢師より法話をいただきました。俊漢師はご自身の生い立ちや日本への想いにも言及され、両国が

都で初めて交流会が行われ、そこから交流が深まり今回の合同企画のアイデアも立ち上がりました。曹溪宗からは日本出身ですが韓国で僧侶となったという法如師が、全曹青からは神野太賢国際委員長が中心となり進めてきました。当初は互いに様々な意見が出て、企画実現は難しいのではと感じることが私自身もありましたが、打合

せや交流を重ねていくことで両者のリズムが段々と合ってくることも感じました。今回この合同企画が1つの形として実現できたことは、両者のご尽力と企画実現に向けた熱意無しには成し得なかつただろうと強く感じております。

韓国では、仏教徒として道を共に歩む者たちを「道伴 (doban)」と呼ぶそうです。互いに敬意と慈悲の心を持って手を取り合うこの道伴は、法友や僧伽と呼ぶよりも近い関係性なのだそうです。企画を終えた後、嬉しくも穏やかな心の持ちようから、ご参加いただいた皆様にも



この道伴という関係性を自然と感じていただけたのではないかと思います。言葉を要せず、場所も国籍も飛び越え同じひとときを共に坐禅をした静寂の時間は、とても尊い時間でした。

文／国際委員 高倉秀哲



「第10回つるみ夢ひろばin總持寺」参加報告

令和6年11月3日に東日本大震災復興支援、また大本山總持寺と地域住民の交流を目的とした「第10回つるみ夢ひろばin總持寺」が開催されました。参道には約50店の模擬店が揃い、大祖堂をバックにしたステージではダンスや吹奏楽、和太鼓演奏などが披露されました。全曹青からは3人が参加し、キッズコーナーを兼ね、頒布物の「ナムナムぬりえ」を用いたぬり絵ブース設置、災害復興支援活動のパネル展示、ボランティア基金への募金を行いました。

天気にも恵まれ、ぬり絵ブースも常に満席に近い状況が続いて大変盛況となりました。ぬり絵は一仏兩祖を含めた4種類を用意しておりましたが、1種類が足りなくなるほど人気を博しました。保護者の方もお子さんのぬり絵の様子を眺めながらブースでゆつくりくつろがれていました。一仏兩祖を塗られたお年寄りの方からは、ご自宅のお仏壇にお祀りしたいといった、ありがたいお言葉もいただきました。

また、災害復興支援活動のパネルは

平成23年の東日本大震災、令和2年の熊本豪雨災害、そして昨年元日に発災した能登半島地震について展示いたしました。パネルを見た参加者の方々が募金をしてくださり、特に子どもたちからの募金が多かったのは大変感銘を受けました。募金してくださった姿からは、災害支援に対する想いが芽生えたのではないかと感じております。このパネル展示によって日本国内で起きている悲痛な現状を知り、募金することで助け合いの心を育む良い機会になっていただけた

のではないかと思っております。今年の活動でも地域住民の方々との絆を深めることができました。ぬり絵ブースでは布教化活動の大切さ、パネル展示では被災地復興への想いをより強くし、被災の記憶を風化させることなく伝えることができたイベントだったと感じております。

この度貴重な機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。今後も仏教を身近に感じてもらえるよう引き続き活動してまいります。

文／庶務 高杉春輝



「味来食堂」僧食を学ぼう」 精進料理教室開催



令和6年11月6日（水）、鳥取県米子市の Chukai コムコムスクエアで開催しました。今回は曹洞宗鳥取県青年会40周年記念大会との併催となり、僧侶と寺院、合わせて12人が参加しました。

この日の献立は、きのこご飯、煮物、柿の白和え、根菜の皮のきんぴら、といった内容でした。講師の三島秀典師と磯江紹元教化委員による実演を参考に、参加者も実際に調理を行い、旬の味わいを活かし、素材を余すことなく使う精進料理の技と心を学びました。

調理の後は、五観の偈を唱えて料理を

頂き、作るころから配膳し食べるころまですべてが仏道実践となっており、とを改めて実感することができました。

参加者からは、「精進料理教室を始めたかと思っても中々最初の一步を踏み出せずにいたが、今回の経験で具体的なイメージを持つことができた」という声も寄せられるなど、食を通じた布教の更なる発展につながる企画となりました。

文／広報委員 竹田龍永

北陸三県合同ボランティア活動 開催報告

令和6年10月16日（水）、石川県輪島市門前町に北陸三県の青年会が参集し、災害ボランティア活動を実施しました。当日は始めに大本山總持寺祖院（以下、總持寺祖院）大祖堂に於いて、令和6年能登半島地震物故者追悼法要を厳修しました。導師は福井県曹洞宗青年会会長粟谷一浩師が務められました。法要には三県の青年会員20余人と、總持寺祖院の高島副監院老師にもご随喜いただきました。

法要後、午前中は門前町内の覚皇院様の仏像や位牌、仏具等の什物をパネルトラック2台に積み込む搬出作業を行いました。

午後からは、先程のパネルトラックに積んだ什物を志賀町の龍護寺様まで届け、建物内に搬入し当日のすべての作業を終えました。

北陸三県では古くから県対抗ソフトボール大会を毎年行い、交流を深めてきました。今回は災害ボランティア活動という形で両県には石川県を支援していただき、非常に心強く感じております。瑩山禪師の「和合和睦」の精神のように、睦み合い、困ったときには手を取り合えるような関係をこれからも続けていけたらと強く感じる活動となりました。

文／曹洞宗石川県青年会 勝田淳玄





**行茶傾聴活動
「おぼろさんカフェ」報告
これからも、被災地とともに**

令和6年能登半島地震の発災より、全曹青災害復興支援部（以下、支援部）では各青年会と連携し、発災当初は不足する物品提供、避難所での炊き

出しを実施、そのコーディネートをしてまいりました。

「連携」というのはただ青年会側のものではなく、被災された方、ともに避難所で生活をされる寺族様、現地支援に長期間従事されている方、活動青年会からの報告、支援部に寄せられた多くの「声」を基に、被災



地のニーズにかなう活動になるよう進めております。

9月下旬、避難所から仮設住宅への移動がほぼ完了し、行茶活動募集の発信をしようとした矢先に豪雨災害が発生しました。行茶活動は控ええた方が良くはないか、という意見も出ましたが、「大雨も重なった今だからこそ、話を聴きに来て欲しい」という声を現地より頂戴し、常駐されているシャンティ国際ボランティア会（SVA）と協力して、9月より行茶傾聴活動「おぼろさんカフェ」を行っております。

行茶は被災者の方に、心休まるひとときを提供する活動です。お話をされる方の「心の声」を聴くためには「自然」であることが大切であり、また赴く側も持続的なものでありたいと考えております。

そうであるように、参加される皆



様は銘菓や独自の習慣といった、各青年会の特色を活かしながら、綿密に準備をして活動されています。参加者にとっては全国のお菓子や各地域のことをきっかけに、行茶を味わいながら、自然と会話が弾むよう、大変好評をいただいております。

幸いなことに、お盆や彼岸の時期を除くと、1週間に1つ以上の団体をコーディネートさせていただいており、各青年会の被災地への強い想いを感じております。

能登地方において、長く培われてきた「曹洞宗」という安心感を活かしながら、被災された方が日常と、自分自身をゆつくりと取り戻していただけるように、これからも活動してまいります。

文／副会長 山崎秀典





**臨時理事会と復興支援活動
「和み落語カフェ」開催**

11月26日に石川県金沢市天徳院様を会場に第2回臨時理事会が開催されました。来年開催される予定の仏法興隆花まつり千僧法要や全日仏青全国大会についての日程や内容について話し合われ左記に決まりました。

仏法興隆花まつり千僧法要

令和7年5月26日(月)
奈良県東大寺

全日仏青全国大会

令和7年5月20日(火)
大阪府シエラトン都ホテル大阪
テーマ…三島居贈…信仰と宗教の未来」―宗教者とA―による対話で考える信仰と宗教のこれからの在り方―

どちらの行事も皆様ご参加いただけます。全日仏青より通知がありましたら皆様へご案内させていただきます。多くのご参加よろしく願いたします。



翌日には令和6年能登半島地震復興支援として全日仏青主催、全曹青、シャンティ国際ボランティア会、落語芸術協会協力のもと、8月まで避難所として使われていた門前会館(輪島市門前町)で「和み落語カフェ」を開催しました。
全日仏青では発災当初の混乱や人命第一を考へ「宗教の専門家」として被災地へ向けた「祈り」と、この不慮の震災により貴い命を失われた方、普段の生活を奪われ不安な日々を過ごしておられる方に供養を修し、義援金托鉢等で寄進を募り、近い将来現地に赴き心のケアをするため加盟団体で連携を取り準備をしてきました。



道路やライフラインが復旧し仮設住宅での生活が落ち着いてきた今、現地へ赴き能登半島を襲った大地震や豪雨災害を同行として被災者へ寄り添い、何よりも笑顔(元氣)を届け一息つける時間を作るために「突撃!隣晩御飯」で有名な落語家桂米助氏と石川県出身の桂空治氏をお呼びし落語会を開催しました。
地元出身者ならではのネタを披露した桂空治氏の落語で場を温め、桂米助氏らしい晩御飯クイズや回答者へのサイン入りしゃもじのプレゼントなど、ただ落語



を聞かせるだけではない来場者との掛け合いで会場が大きな笑いに包まれました。発災当初避難所として多くの方々を身を寄せて、様々な苦勞に耐えていた所で多くのこぼれるような笑顔を見ることができたことは感慨一入の思いでした。全日仏青では引き続き被災地へ思いを寄せて活動してまいります。ご理解ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

文/副会長 高柳龍哉



委員長 森井宗淳

いずも曹洞宗青年会

この2年間、毎日何をすることも常に全曹青のこと、50周年記念事業のことが頭を駆け巡っておりました。全国も走り回らせていただきました。そして、多くの方に助けていただきました。感謝の念でいっぱいです。

第25期の活動が、関わっていただいた皆様のお力で、全国・世界、そして未来へと繋がっていただければ幸いです。残りわずか頑張っております。



副委員長 川浦良晃

愛知県第一曹洞宗青年会

今期全曹青創立50周年の大きな節目に、歴代の諸先輩方の数えきれない偉業と、自身そこに携わっていることへの甚大なるありがたさを感じております。より宗門僧侶としての自覚を深め、この経験を未来に生かしていくように精進してまいります。



副委員長 菅 悠生

広島県曹洞宗青年会

今期は周年事業を通し、様々な経験の機会を頂戴しました。特に記念誌『LOG』担当として、大衆教化の接点を求め社会に向き合い続けた会の歴史に触れ、気が引き締まる2年間でした。

現代にも向き合うべき社会問題が多くあります。一人の青年僧侶として、さらに精進してまいります。



委員 新川泰玄

曹洞宗北海道第三宗務所青年会

50周年記念事業の1つ、禅のつどい「自然に親しむZEN ASOBI」を担当いたしました。参加者皆様の仏教に対する姿勢から、沢山の気づきを得ることができました。委員の仕事を通じ、青年僧侶としての布教という課題を考える毎日です。最後までよろしくお願いたします。



委員 高回大航

秋田県曹洞宗青年会

事業のプレッシャーや、真剣な仲間の姿に日々刺激をいただいております。責任をもって活動と向き合うことはもちろんですが、自分自身の糧になるよう残りの任期を全力で走り抜けていきたいと思っております。



委員 勝回淳玄

曹洞宗石川県青年会

全曹青創立50周年の節目に周年記念事業実行委員会でも活動させていただくことになり非常にありがたく思います。委員会内では会計と教化・交流事業の禅喫茶「RYUREI」の企画を担当しております。この記念すべき節目の期が無事円成するように、自分の与えられた役割を全うし尽力させていただき所存です。



委員 小泉道隆

福井県曹洞宗青年会

節目のこの期に記念事業等に携わらせていただき、全曹青のこれまでの歩みと諸先輩方の活力ある取り組みに感化を受けながら、時代に即した布教教化の学びを得る機会をいただきました。このご縁に感謝し、僧侶の役割を見失うことなく、精一杯任期を全うしたいと思います。



委員 神野元秀

曹洞宗岐阜県青年会

災害復興支援活動全国研修会担当として各管区で貴重な体験をさせていただきました。研修会での実習と講義を通して、自身も学ぶことが多くあり、今後の活動に生かしていきたいと思っております。至らぬ点も多くありますが、50周年記念事業が無事円成するよう残りの期間も精一杯努めてまいります。



委員 長岡宏宗

広島県曹洞宗青年会

2度の出向を40周年、50周年という節目に体験させていただき大変光栄です。青年僧侶の皆様の熱意とフットワークの軽さ、この10年間で会運営のデジタル化・オンライン化がますます進んだことに大きな刺激と学びをいただいております。また、記念誌『LOG』編集の中で先輩方のご尽力にただただ頭が下がります。思いがしております。

全国曹洞宗青年会創立50周年 協賛金芳名録

2024年10月1日～2024年12月31日取扱い分

福井県曹洞宗青年会 様

創立50周年記念事業 祝賀添菜芳名録

2024年10月19-20日 禅のつどい 自然に親しむZEN ASOBI

兵庫県 禅昌寺 齊藤宗一 様 三重県 四天王寺 倉島隆行 様 福井県 休岩寺 粟谷一浩 様

11月21日 大本山永平寺報恩拝登

大本山永平寺 様	第5期副会長	大谷俊定 様	東北管区理事 菊池裕紀 様
大本山永平寺 南澤道人 不老閣猊下	第6期会長	吉岡棟憲 様	中国管区理事 清木玄栄 様
大本山永平寺 小林昌道 監院老師	第9期会長	木南広峰 様	東海管区曹洞宗青年会 様
大本山永平寺 原田光則 副監院老師	第13期副会長	瀬戸弘勇 様	近畿曹洞宗青年会連絡協議会 様
大本山永平寺 小泉裕道 参務老師	第14期会長	池上幸秀 様	
	第14期副会長	本土一真 様	茨城県曹洞宗青年会 様
WFBY世界仏教徒青年連盟会長 村山博雅 様	第15期会長	山口英寿 様	千葉県曹洞宗青年会 様
韓国仏教青年会 様	第16期会長	宮寺守正 様	伊豆曹洞宗青年会 様
	第17期会長	芳村元悟 様	愛知県第一曹洞宗青年会 様
全日本仏教青年会 様	第17期事務局長	高垣晶敬 様	曹洞宗愛知県第三宗務所青年会 様
全日本仏教青年会理事長 新井順證 様	第18期会長	久間泰弘 様	曹洞宗岐阜県青年会 様
全日本仏教青年会顧問 谷 晃仁 様	第18期副会長	高木一晃 様	三重県曹洞宗青年会 様
全日本仏教青年会顧問 東海林良昌様	第19期副会長	板倉省吾 様	大阪曹洞宗青年会 様
全日本仏教青年会監事 成田淳教 様	第19期事務局長	大久保厚志様	曹洞宗兵庫県第二宗務所青年会 様
全日本仏教青年会直前理事長 西郊良貴 様	第20期会長	櫻井尚孝 様	山口県曹洞宗青年会 様
全日本仏教青年会副理事長 門屋昭譽 様	第21期会長	安達瑞樹 様	福岡県曹洞宗青年会 様
全日本仏教青年会副理事長 来馬司龍 様	第21期副会長	酒井泰寛 様	長崎県曹洞宗青年会 様
全日本仏教青年会理事 上原潤明 様	第21期副会長	神作紹道 様	熊本県曹洞宗青年会 様
全日本仏教青年会理事 飯間弘人 様	第22期会長	倉島隆行 様	曹洞宗福島県青年会 様
全日本仏教青年会事務局次長 幡谷俊一 様	第22期副会長	河口智賢 様	宮城県曹洞宗青年会 様
神奈川県仏教青年会 様	第23期会長	原 知昭 様	青森県曹洞宗青年会 様
全国浄土宗青年会 様	第23期副会長	宮本覚道 様	
全真言宗青年連盟 様	第23期事務局長	金森成裕 様	鳥根県 總光寺 千葉哲之 様
全国日蓮宗青年会 様	第24期会長	山田俊哉 様	福島県 大龍寺 内藤宏信 様
大阪府佛教青年会 様	第24期副会長	岡島典文 様	福島県 医王寺 村上徹信 様
金峯山青年僧の会 様			福岡県 東禅寺 間地隆道 様

(一社) 神戸青年仏教徒会 様

頂戴いたしました浄財は、全国曹洞宗青年会創立50周年記念事業の円成のために活用させていただきます。衷心より御礼申し上げます。

賛助費浄納芳名簿

2024年10月1日～2024年12月31日取扱い分

◆東京都
18 大泉寺 様
149 松月院 様
199 大松寺 様
256 妙全院 様

◆神奈川県1
353 願成寺 様

◆神奈川県2
14 傳心寺 様
15 陽光寺 様
21 東照寺 様
44 東泉寺 様
77 龍寶寺 様
390 善光寺 様

◆栃木県
85 長谷寺 様

◆群馬県
97 元景寺 様
99 龍傳寺 様
194 善宗寺 様
272 海雲寺 様

◆茨城県
41 大雄院 様
134 大統寺 様
172 大聖院 様

◆千葉県
22 廣壽寺 様
29 慶林寺 様
98 福泉寺 様
105 龍光院 様
273 大徳寺 様
357 永福寺 様

◆山梨県
29 西光寺 様
280 円通院 様

◆静岡県1
26 宝珠院 様
34 洞慶院 様
97 法幢寺 様
138 龍興寺 様
388 林叟院 様
464 正泉寺 様
495 普門院 様
551 成道寺 様

◆静岡県3
767 大雲院 様
1306 藏雲院 様

◆愛知県1
101 成福寺 様
108 香積院 様
135 光明寺 様
158 秀傳寺 様
182 觀昌寺 様
313 長松寺 様
319 般若寺 様
375 春江院 様
605 天徳寺 様
609 金剛寺 様
635 永澤寺 様
1185 慶雲寺 様

◆愛知県2
101 成福寺 様
684 花井寺 様

◆愛知県3
411 福田寺 様
557 楞嚴寺 様

◆岐阜県
108 玄霜寺 様
240 林陽寺 様

◆三重県1
83 涼泉寺 様
144 福源寺 様
276 地藏院 様

◆滋賀県
143 永壽院 様

◆京都府
6 天寧寺 様
33 興聖寺 様
55 欣浄寺 様
236 善光寺 様
242 長福寺 様
389 萬福寺 様

◆大阪府
18 大倫寺 様
26 天徳寺 様
70 無二寺 様

◆奈良県
81 諦崇寺 様

◆和歌山県
52 宗應寺 様

◆兵庫県1
287 向榮寺 様
305 雲晴寺 様
341 常嚴寺 様
375 金剛寺 様

◆兵庫県2
149 瑞光寺 様
154 鷺住寺 様
188 興禅寺 様
233 長谷寺 様

◆広島県
46 双照院 様
102 潮音寺 様
133 少林寺 様
150 無量寺 様
177 功德寺 様

◆山口県
24 吉祥寺 様
205 大寧寺 様
243 覚天寺 様

◆鳥取県
146 妙楽寺 様
151 安国寺 様
170 大安寺 様

◆島根県2
63 龍覚寺 様
66 浄心寺 様
70 完全寺 様
144 福知寺 様
199 妙楽寺 様

◆徳島県
26 城満寺 様

◆愛媛県
146 興雲寺 様

◆福岡県
5 妙徳寺 様
20 寶林寺 様
25 南林寺 様
28 桂木寺 様

◆長崎県1
42 西方寺 様
78 宝泉寺 様

◆佐賀県
101 永林寺 様
108 光明寺 様
174 常安寺 様

◆熊本県2
78 地藏院 様
122 國照寺 様

◆鹿児島・沖縄県
2 龍光寺 様

◆長野県1
57 長秀院 様
65 柳原寺 様
99 天照寺 様

◆長野県2
389 宗福寺 様
441 雲龍寺 様

◆福井県
47 瑞祥寺 様
231 禅応寺 様

◆富山県
98 足蹤寺 様
110 円通寺 様
211 哲祖寺 様
徳城寺 様

◆新潟県1
362 長禅寺 様
393 曹源寺 様
397 善昌寺 様
475 天昌寺 様

◆新潟県3
567 楞嚴寺 様

◆新潟県4
9 東陽寺 様
36 吉祥寺 様

◆福島県
101 成林寺 様
110 龍徳寺 様
111 普光寺 様
121 長泉寺 様
156 大龍寺 様
226 常隆寺 様
471 大泉寺 様

◆宮城県
19 大林寺 様
34 江巖寺 様
59 清水寺 様
69 見松寺 様
212 祥雲寺 様
366 香林寺 様
371 頼光寺 様

◆岩手県
11 天昌寺 様
13 長善寺 様
14 正傳寺 様
21 恩流寺 様
67 永昌寺 様
124 西光寺 様
145 見性寺 様

◆青森県
7 海蔵寺 様
20 盛雲院 様
90 高雲寺 様
100 澄月寺 様

◆山形県1
58 慶松寺 様
152 慈眼寺 様
201 東照寺 様

◆山形県2
294 積善寺 様
344 藏高院 様
346 長福寺 様

◆山形県3
468 宗傳寺 様
652 青陽院 様

◆秋田県
18 乗福寺 様
27 永源寺 様
61 鷺林寺 様
79 東林寺 様
87 慶祥寺 様
179 長泉寺 様
243 寶藏寺 様
246 福城寺 様
265 倫勝寺 様
321 鏡得寺 様
323 恩徳寺 様
338 圓通寺 様

◆北海道1
96 観音寺 様
353 龍宝寺 様

◆北海道2
117 中央院 様
252 清水寺 様
346 永光寺 様
419 龍門寺 様

◆北海道3
146 晃徳寺 様
204 開法寺 様
225 明光寺 様
460 道貫寺 様

広報誌『SOUSEI』第207号・P19内の表記に誤りがございました。つきましては、下記の通り訂正をさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

誤 京都府46番 榮春院 様 正 京都府46番 榮春寺 様

ボランティア基金感謝録

2024年10月1日～2024年12月31日取扱い分

◆島根県2
いずも曹洞宗青年会 様

◆北海道1
曹洞宗北海道第一宗務所第二教区道友会 様
曹洞宗北海道第一宗務所第七教区青年会北斗会 様
札幌禅林青年会 様

◆北海道2
508 大乘寺 様
曹洞宗北海道第二宗務所第四教区 様
曹洞宗北海道第二宗務所第五教区青年会一心会 様
曹洞宗北海道第二宗務所第六教区空知青年会 様

◆北海道3
曹洞宗北海道第三宗務所第一教区青年会禅真会 様
曹洞宗北海道第三宗務所第三教区青年会道心会 様
曹洞宗北海道第三宗務所第四教区青年会発心会 様

インターネット受付分

◆島根県2 199 妙楽寺 様



全国曹洞宗青年会の活動にご理解とご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。お預かりした賛助費は活動の大きな支えとして活用させていただくとともに、またボランティア基金として災害復興支援活動に充てさせていただきます。



『全曹青公式YouTubeチャンネル』で『般若心経／共に唱える』動画を11月1日に配信いたしました。

お持ちのスマートフォンを縦画面にすることで、仏壇の前に縦置きし再生することができます。視聴者が動画内の僧侶と共に仏壇の仏様に向かいお経をお唱えしているようにご覧いただけます。視聴するだけでなく、動画に合わせてお唱えできるよう、お経に合わせて経文が見やすく表示されるようになっております。

ご先祖様へのご供養、お参りのときにお唱えするだけではなく、ぜひ日常生活の中でもお経を聴き、ほっと心を落ち着かせるひとときとしていただけましたら幸いです。



この度「五観の偈」のお唱えによる食の布教教化を目的とし、『五観の偈～禅のころでいただきます～』動画を『全曹青公式 Youtube チャンネル』で公開いたしました。どなたでも動画に合わせて五観の偈をお唱えできるよう、テロップ付きでゆっくりとお唱えしている様子を収録いたしました。また動画の後半には、お唱えの簡単な解説もつけております。

坐禅堂において丁寧な作法で食事をいただく僧侶の姿も収録しております。曹洞宗においては食事修行の一部と考えられており、一般の方があまり見る事のない食事修行の様子もご覧いただけます。その姿から今一度食事に対する向き合い方を考え直す機会となっていたいただければ幸いです。是非ご覧ください。

創立50周年記念誌『LOG』発行延期のお詫びとお知らせ

今号に同封予定でした記念誌は、諸事情のため次号（令和7年5月発行第209号）同封に延期をさせていただきます。心よりお詫び申し上げますとともに、ご理解いただけますようお願い申し上げます。引き続き、より良い記念誌を目指し全曹青一丸となって鋭意編集を進めてまいります。

表紙の話

今号特集の「両大本山報恩拝登」を受け、今回の表紙では全曹青の新たな一歩を表現しました。創立50周年事業も大円成まであと僅かです。一步ずつ着実に、未来への歩みは続きます。